



NO. 947

2013・12・1

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三・四四五八
F 四三・四四五七



市議会総務・文教委員会に

市民プール立替基本計画が出される

さる18日(月)午後1時から総務・文教委員会が開催され、立替計画の概要が示されました。

10月下旬に水泳協会や利用団体に基本計画の概要が示され、幾多の協議を重ねながら18日に基本計画として議会に初めて説明がなされました。委員会は基本計画の出された経過や利用団体との協議を踏まえた各施設や設備への課題や問題点、観覧席拡充への積算見積もりなどの要望や質疑がなされ、本格的質疑は次回に持ち越されました。



遅れに遅れた 基本計画の提出

審議の中で飯田議員は、「計画では、9月議会時に基本計画が出され、それを基に、水泳協会、各利用団体や市民の意見を聞きながら実施設計に持つて行くことになっていた。これでは、時間がなく十分な審議ができな。また、競泳機能の強化と市民全般の健康増進を図る多目的機能の併設で市民健康の推進を図ろうというが、健康増進の事業と体制(ソフト面)がはつきりしないのに施設(ハード面)が出てくるのはやり方が逆ではないか。だから、観覧できるスペースが実態に合っていない設計になったりするのではないか。

今まで30年間の市民プールが積み重ねてきた蓄積を周年化の土台にするなら、主として競泳用プールとして最低限の施設・設備を持ち、健康増進にも併用できる観点で基本計画をよりよきものに修正していくべきではないか」と時間のないなか、今後の審議で問題点を解決していくべきと主張しました。

今後の審議日程ですが、12月2日(月)再度審議される予定です。

いっせいで東奔西走

過日、所用のおり信州上田市の無言館を訪ねました。正式には戦没画学生慰霊美術館といい、作家水上勉氏の子息、窪島誠一郎氏により1997年に開館しました。多くの画学生や若い画家が太平洋戦争の徴兵直前まで、描き続けていた絵画が展示されています。

紅葉の林のなかにずつしりとたたずむ建物の中に入ると自画像や妹・母親など家族の肖像画、恋人や妻をモデルに裸婦を描いたり、万歳三唱の音が聞こえる出征直前まで制作に取り組んだり、戦地でも描くために画材を送ってもらった画学生。そこには必ず生きて帰り、また絵を描きたい思いが伝わってくる展示でした。

暖房もなく、照明も薄暗く、何か寒々とした館内に無謀な侵略戦争によつて前途有望な若い命を理不尽に奪われた画学生の無念さが漂っているようでした。

今年、あの学徒出陣から70年、国会での秘密保護法案の強行採決など戦時下体制に逆走しているかのような昨今の情勢、窪島氏の「口をつぐめ、眸をあげよ見えぬものを見、きこえぬ声をきくために」という無言館の思いを決して風化させてはならない。

秘密保護法案

26日に「自民、公明、を無視して衆議院の国家安全保障特別委員会で強行採決し、続いて、本会議でも数の力で強行採決しました。維新の会は、「修正」合意していましたが、欠席しました。こんな重要法案が衆議院で、たった2週間の審査で採決を強行するなど到底許されるものではありません。「秘密保護法案」は、「治安維持法の再来」ともいわれるように、国民の目・耳・口をふさぐ法律です。最初は、公務員に対して「特定の秘密」について罰則を設けるとのことでしたが、審議することに国民にも大きく制限が加わることが明らかになり、「何が秘密か、それは秘密だ」というようにとんでもない法案です。そのため、今、ジャーナリストをはじめペンクラブ、マスコミ各社も反対の声を上げているのです。

戦前の暗黒政治に逆戻りするような法案は、断固阻止しなければなりません。

流水

アベノミクス効果で長年要望していた市民プールが建て替えられることになった。景気が回復した、景気がよくなった、と言わんがための国の公共事業ではあるものの、秋口には寒さに震えていた利用者の一人としては温かいプールが通年化になることを喜ぶたい。▼しかし、今年度中に基本設計を提出して来年度中に完成しなければ交付金がおりにいと聞くと、そこまでして景気回復をうたつて来年4月からの消費税増税かよ!と吠えたくもなる。(消費税増税反対の市民の会も立ち上がりましたね)▼そんな慌ただしさのせいなのか新プールには2階の観覧席がない、と判明しました。(プールというのは1階からは「泳ぎ」がみえないのです)そこで議員さんたちから集まってもらって利用者達からの要望を伝え、その後、文教委員会も開かれました。委員会にはたくさんの方が集まり傍聴、なかにはネットで公開された委員会の様子を「しつかり見て聞いていたよ」という人も見たり聞いたりして期限も短く、市民からはさまざま要望がだされて右往左往しているうちにない、市の担当者の姿もなかなかで少し気の毒な気もする。が、たとえアベノミクスとはいえ、もとは私たちの税金、せっかくだから利用者や市民の声に耳を傾けていいものを完成してほしい。ぜんぶ丸のみしろと言っているわけではないが、施設でも作り上げるのは世界の流れではないのか!(プールごときにおおげさかな?)

▼街も国も、そして世界も、そこに暮らす人々の声を無視しては成り立たないんだよね。(た)